

報道機関各位

公益財団法人 国際高等研究所

【けいはんな「エジソンの会」 第47回会合（企画中）】

◇開催日：12月6日（金）14:00-18:00

◇テーマ：『宇宙の未来 ～月/火星への挑戦～』（仮題）

◇講演者：中須賀 真一氏（東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授）

演題：「未来への挑戦 ～宇宙ビジネスの新しい潮流と今後～」（仮題）

澤井 秀次郎氏（JAXA 宇宙科学研究所 教授）

演題：「月面探査-SLIM ～今、最も世界が注目するプロジェクト～」（仮題）

船瀬 龍氏（JAXA 宇宙科学研究所教授、東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻准教授）

演題：「深宇宙へ ～超小型探査機を太陽系のあらゆるところへ送り込む～」（仮題）

◇開催場所：公益財団法人国際高等研究所（木津川市木津川台9丁目3番地）

◇定員：50名 ◇参加費：3000円（学生は無料） ◇申込：11月上旬に参加申込を開始予定

◇概要

米国が主導する「アルテミス計画」（人類を再び月へ送り、月を起点とした深宇宙への探索を行う）の第1歩として、本年1月20日未明、日本のプロジェクト（SLIM）が月面着陸に成功し、大きな成果を収めました。

今後の宇宙探査への足掛かりとなるSLIMの重要な成果は、月面の目標地点へのピンポイント着陸（従来誤差数キロメートルを55mの誤差に）および超小型探査機による自由自在な月面移動、が挙げられます。

今回の会合では、超小型衛星の研究開発で数々の成功を収め、世界の宇宙ビジネスを牽引されている中須賀先生にリード役をお務め頂き、深宇宙探査に新たな可能性をもたらした日本のトップランナーをJAXAよりお迎えし、日本が世界に誇る「ホット」で「衝撃的」な研究開発と活動成果および今後の展望についてお話を頂きます。講演の後に「インタラクティブ・セッション」を予定しており、講師の方々との議論や意見交換を行います。

この貴重な機会を是非ご活用いただき、輝かしい宇宙の未来について一緒に考えませんか。

◇講師略歴

中須賀 真一氏（なかすが しんいち）



1988年東京大学大学院博士課程修了、工学博士。同年、日本アイ・ピー・エム東京基礎研究所入社。1990年より東京大学講師、助教授を経て、2004年より航空宇宙工学専攻教授。日本航空宇宙学会、SICE、IAA等会員、IFAC元航空宇宙部会部門長、UNISEC-GLOBALは設立時より委員長。超小型人工衛星、宇宙システムの知能化・自律化、革新的宇宙システム、宇宙機の航法誘導制御等に関する研究・教育に従事。2003年の世界初のCubeSatの打ち上げ成功を含む超小型衛星13機の開発・打ち上げに成功。宇宙ベンチャー会社数社の設立に貢献し、アジアをはじめ多くの国の超小型衛星をベースにした宇宙工学教育も実施。2012年より政府の宇宙政策委員会委員。基本政策部会長はじめ複数省の宇宙関連プログラムの委員長も務める。

澤井 秀次郎氏（たさい ひでじろう）



1994年東京大学大学院博士課程修了、工学博士。文部省宇宙科学研究所助手、JAXA統合を経て、M-Vロケットの姿勢制御用小型エンジン(SJ)、科学衛星・探査機の化学推進系開発を担当。「はやぶさ」プロジェクトでは新規技術要素の開発に参画。小型科学衛星「ひさき」においては、プロジェクトマネージャーとして衛星システム開発に従事。2016年より小型月着陸実証機「SLIM」では、プロジェクトサイエンティストとしてプロジェクトの研究活動のとりまとめを担当。

船瀬 龍氏（ふなせ りゅう）



2007年東京大学大学院博士課程修了、工学博士。東京大学在学中は、超小型人工衛星の研究・開発に携わり、10cm、1kgのCubeSatの打ち上げに世界で初めて成功。その後、JAXA宇宙科学研究所にて、「はやぶさ」「はやぶさ2」、小型ソーラー電力セイル実証機IKAROSなどの深宇宙探査機的设计・開発・運用に携わる。超小型衛星による低コストで高頻度な深宇宙探査の実現に向けた研究開発・実ミッションを推進。

◇お問合せ：公益財団法人国際高等研究所「けいはんなエジソンの会」事務局 TEL: 0774-73-4000